

地域防犯に係る市民アンケート

< 調査の概要 >

1. 目的

この調査は、地域防犯に関する市民の意識や、地域の実情、要望、抱えている課題等を明確化にし、「(仮称)札幌市地域防犯ガイドブック」の編さんをはじめ、今後の市政執行の参考とするために実施したものである。

2. 調査の内容

(1) 地域の犯罪に関する意識について

- ・札幌市の犯罪数が減少傾向にあることの認知度(問1)
- ・犯罪被害への不安(問2、問2の1)
- ・行っている防犯対策(問3)

(2) 地域の防犯活動について

- ・地域の連帯感(問4)
- ・地域の防犯活動・防犯意識(問5)
- ・防犯活動への参加状況、課題等(問6、問6の1~7、問7)

(3) 防犯カメラについて

- ・防犯カメラ増加についての意識(問8)
- ・防犯カメラへの不安感(問9、問9の1)
- ・防犯カメラの必要性(問10、問10の1、問10の2)

3. 調査の設計

- | | |
|----------|-------------------------------|
| (1) 調査地域 | 札幌市全域 |
| (2) 調査対象 | 20歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 1,000 |
| (4) 調査方法 | 郵送配布郵送回収 |
| (5) 調査期間 | 平成18年(2006年)8月25日(金)~9月15日(金) |
| (6) 抽出方法 | 無作為抽出法 |

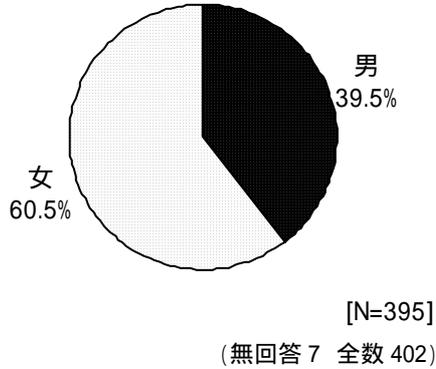
4. 回収結果

- | | |
|-------------|------------|
| (1) 標本数 | 1,000 |
| (2) 回収数(率) | 402(40.2%) |
| (3) 未回収数(率) | 598(59.8%) |

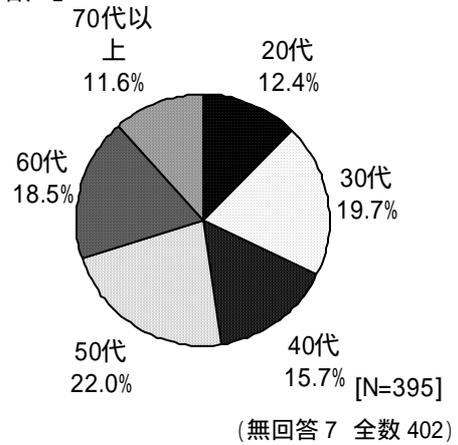
未回収の内訳： 転居 3、未返送 595

< 調査対象者の特性 >

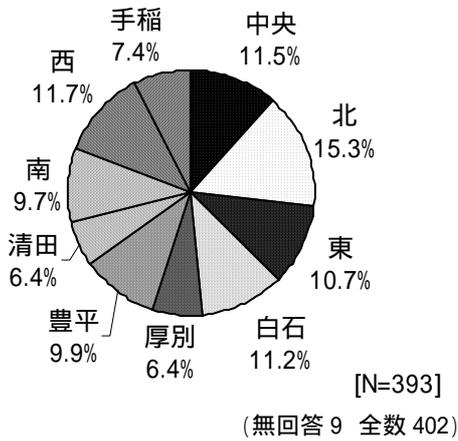
【 性別 】



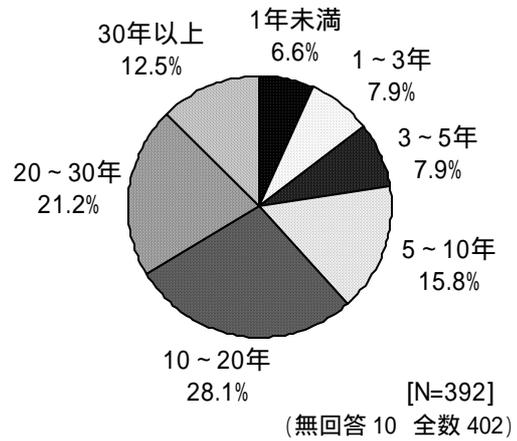
【 年齢 】



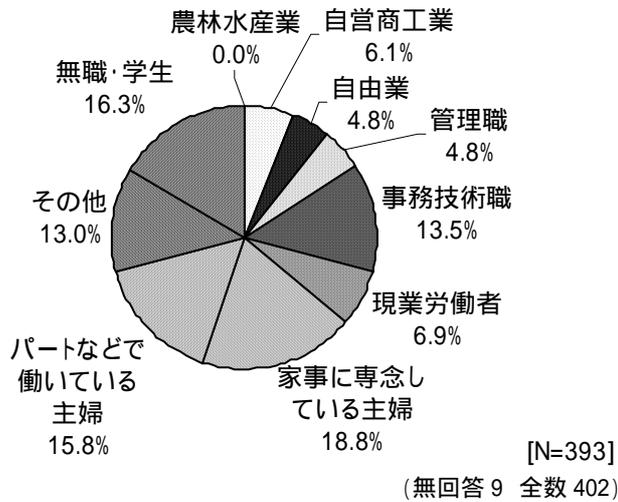
【 居住区 】



【 今の場所の居住期間 】



【 職業 】



< 表の読み方 >

- 1 回答率（各回答の百分比）は少数第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- 2 質問文の末尾に（単回答）とあるのは、一つの質問に対する回答を一つだけに限定したものである。また、（複数回答）とあるのは、二つ以上の回答を認めたものであり、（制限回答）とは回答数に制限を設けたものである。いずれもその百分比は100.0%を超える場合がある。
- 3 数表のうち、「N」は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- 4 この調査結果は、標本調査によるものであり、全数調査の結果から一定の範囲内で離れていることがある。したがって、調査結果を相互に比較・検討する場合には、一定の幅を持たせて解釈する必要がある。
今回の調査（N=402）の場合、標本誤差は信頼度を95%としておおむね次のとおりである。

全市における結果の比較

回答率（全市）	標本誤差（信頼度95%）
50%	± 4.8%
80%又は20%	± 3.9%
90%又は10%	± 2.9%

注）計算式： $z(\alpha) \times \sqrt{((Nu - Ns)/(Nu - 1) * P * (1 - P)/Ns)}$

（:信頼度）= 95%のとき $z(\alpha)$ 1.96

Nu:(母集団数) = 1,545,787 (H18.7.1 住民基本台帳 20歳以上人口)

Ns:(サンプル数) = 402 (アンケートの有効回答数)

Pは回答率

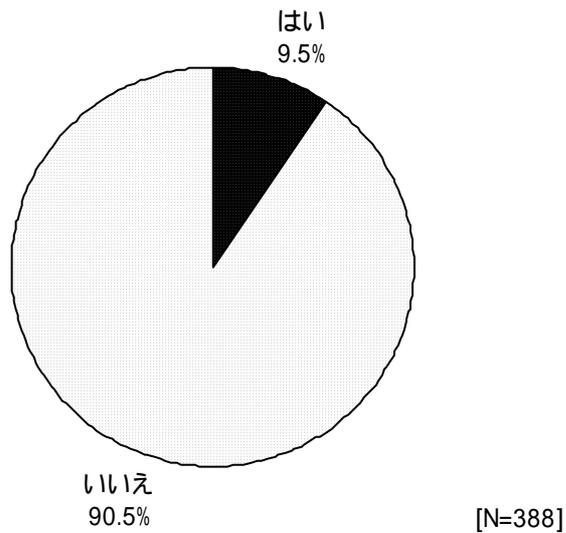
- 5 各属性の無回答者については、本文中の属性別グラフに記載していない。

< 調査結果の概要 >

I 地域の犯罪に関する意識について

札幌市の犯罪減少傾向についての認知度

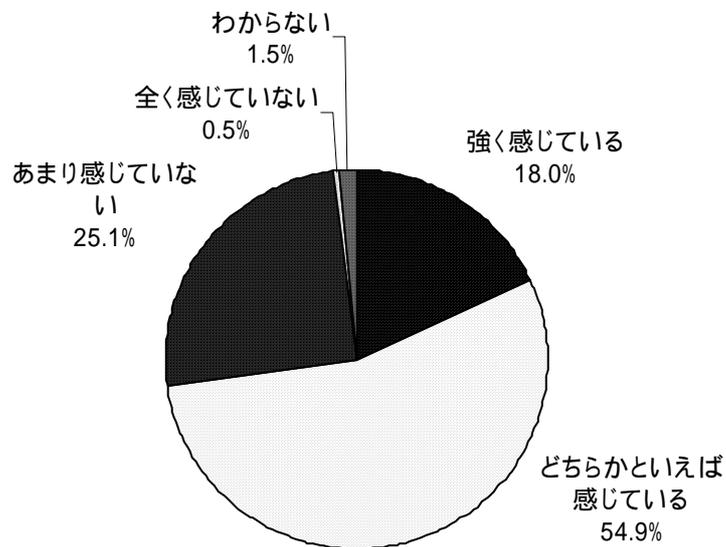
問1 札幌市でおきている犯罪は、平成13年以来減少傾向にあり、平成17年は過去5年間で最少であったことを知っていましたか。次の中から、あてはまるものに1つをつけてください。(単回答)



札幌市の犯罪が減少傾向にあり、H17年が過去5年で最少であったことを知っていたかは、「いいえ」が90.5%と9割を超え、「はい」は16.4%にとどまっている。

日常生活で犯罪に遭遇する不安

問2 日常生活の中で、犯罪に遭う不安を感じていますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。(単回答)

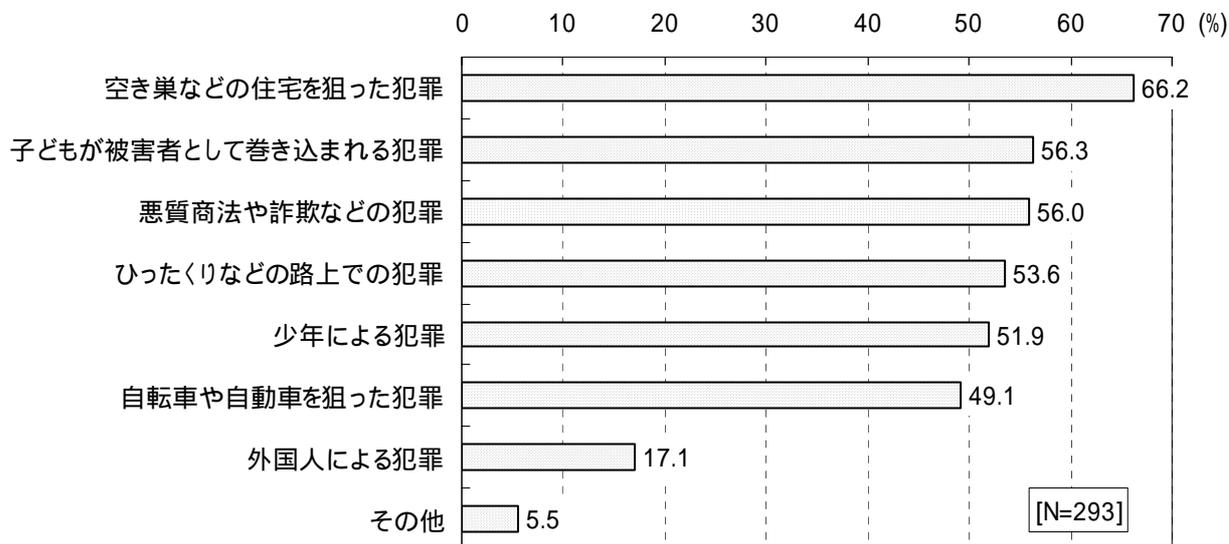


[N=395]

日常生活の中で、犯罪に遭う不安は「どちらかといえは感じている」(54.9%)が最も多く、次いで「あまり感じていない」(25.1%)、「強く感じている」(18.0%)となっており、「強く感じている」「どちらかといえは感じている」の合計は72.9%となっている。

不安を感じる身近な犯罪

問2の1 身近で発生するどのような犯罪に不安を感じていますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも をつけてください。(複数回答、問2で「1 強く感じている」、または「2 どちらかといえば感じている」と回答した人のみ)

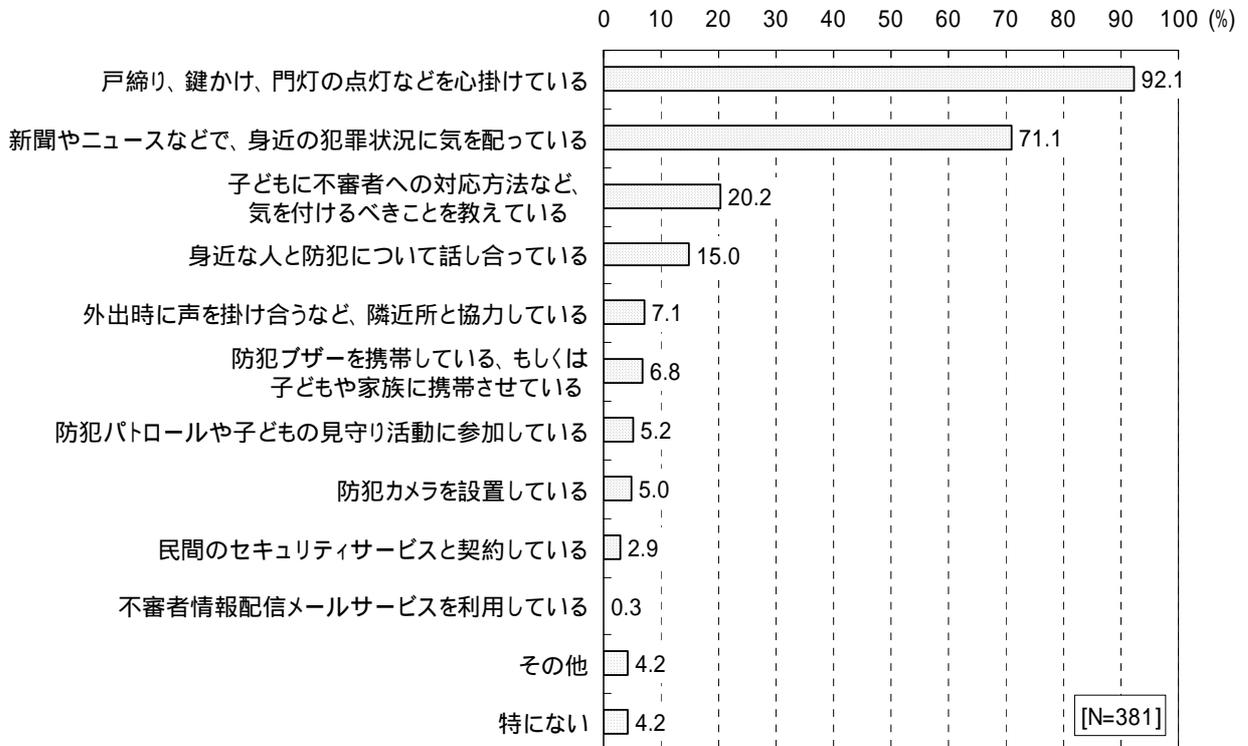


日常生活の中で、遭遇する不安を感じている犯罪については、「空き巣などの住宅を狙った犯罪」(66.2%)が最も多く、次いで「子どもが被害者として巻き込まれる犯罪」(56.3%)、「悪質商法や詐欺などの犯罪」(56.0%)、「ひったくりなどの路上での犯罪」(53.6%)、「少年による犯罪」(51.9%)などとなっている。

また、その他の内容としては、婦女暴行関係、振り込め詐欺、個人情報漏洩関係などとなっている。

犯罪に遭遇しないための心掛け

問3 身近で発生する犯罪に遭わないように心掛けていることはどのようなことですか。
次の中から、あてはまるものにいくつでも をつけてください。(複数回答)

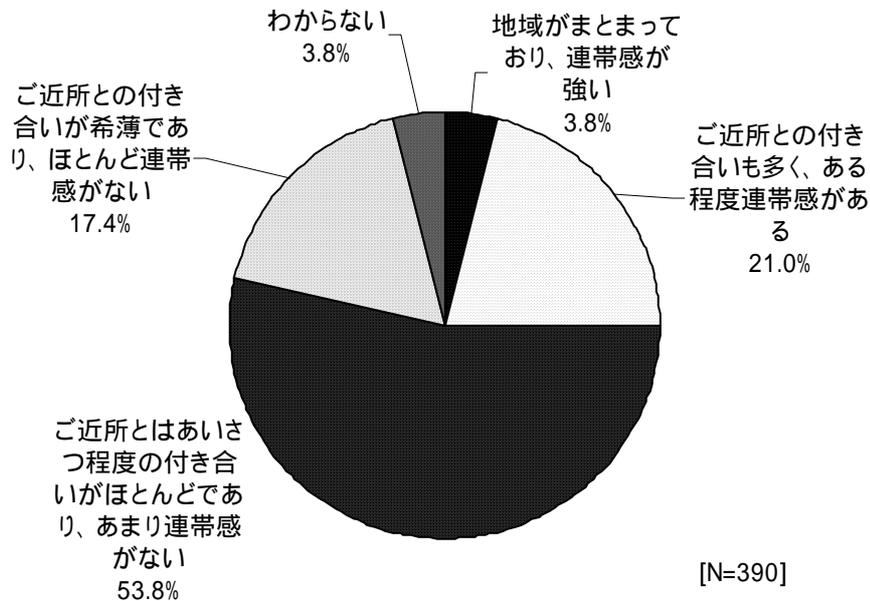


身近で発生する犯罪に遭わないように心掛けていることとしては、「戸締り、鍵かけ、門灯の点灯などを心掛けている」(92.1%)が最も多く、次いで「新聞やニュースなどで、身近の犯罪状況に気を配っている」(71.1%)、「子どもに不審者への対応方法など、気を付けるべきことを教えている」(20.2%)、「身近な人と防犯について話し合っている」(15.0%)、「外出時に声を掛け合うなど、隣近所と協力している」(7.1%)などとなっている。

また、その他の内容としては、夜間の外出での一人歩きや人気のないところを避けることや戸締まり関係、ひったくり防止などとなっている。

II 地域の防犯活動について
近所との付き合いや連帯感

問4 お住まいの地域のご近所との付き合いや連帯感について、どのように感じていますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。(単回答)

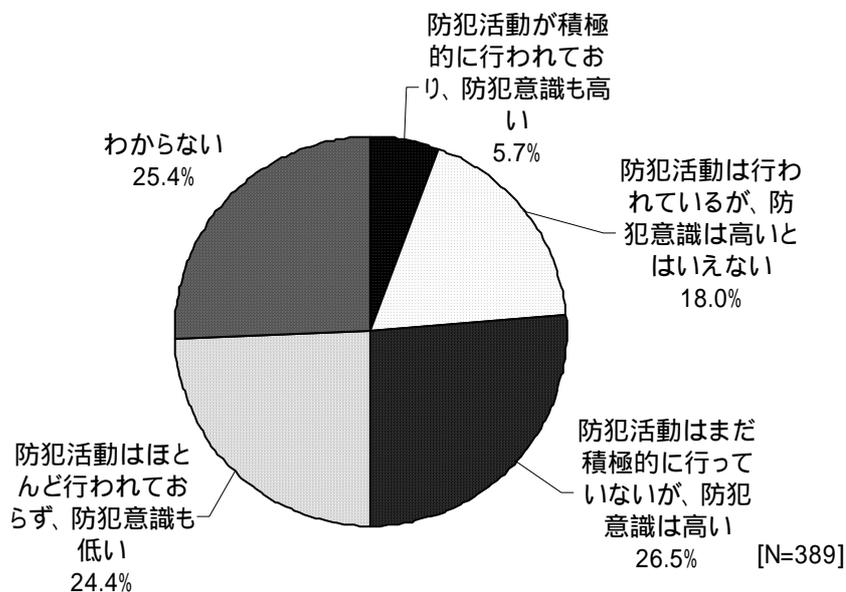


地域の近所との付き合いや連帯感については、「ご近所とはあいさつ程度の付き合いがほとんどであり、あまり連帯感がない」(53.8%)が最も多く、次いで「ご近所との付き合いも多く、ある程度連帯感がある」(21.0%)、「ご近所との付き合いが希薄であり、ほとんど連帯感がない」(17.4%)、「地域がまとまっており、連帯感が強い」(3.8%)、「わからない」(3.8%)となっている。

「地域がまとまっており、連帯感が強い」と「ご近所との付き合いも多く、ある程度連帯感がある」の合計は24.9%となっている。

地域の防犯活動や防犯意識

問5 お住まいの地域の防犯活動や防犯意識について、どのように感じていますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。(単回答)

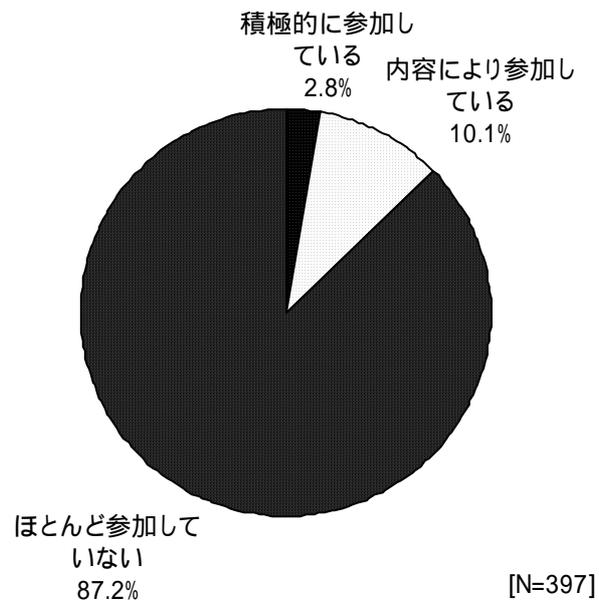


地域の防犯活動や防犯意識については、「防犯活動はまだ積極的に行っていないが、防犯意識は高い」(26.5%) が最も多く、次いで「わからない」(25.4%)、「防犯活動はほとんど行われておらず、防犯意識も低い」(24.4%)、「防犯活動は行われているが、防犯意識は高いとはいえない」(18.0%)、「防犯活動が積極的に行われており、防犯意識も高い」(5.7%) となっている。

「防犯活動が積極的に行われており、防犯意識も高い」と「防犯活動は行われているが、防犯意識は高いとはいえない」の合計は23.7%となっている。

地域の防犯活動への参加

問6 多くの地域では、防犯パトロールや子ども見守り活動など、自主的な防犯活動が行われていますが、あなたはお住まいの地域で行われている町内会やPTAなどによる防犯活動に参加していますか。次の中から、あてはまるものに1つをつけてください。(単回答)

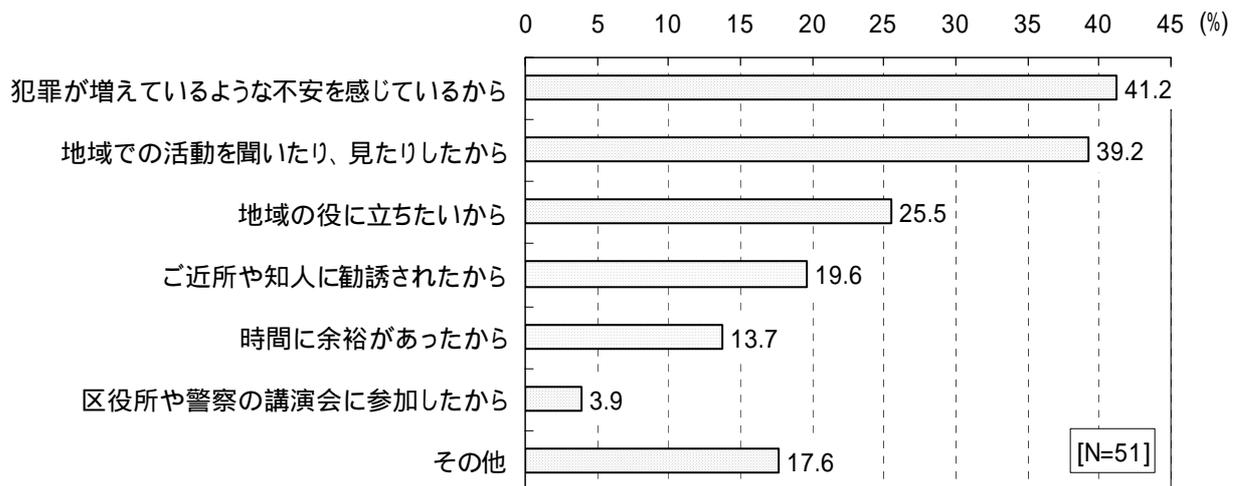


地域で行われている町内会やPTAなどによる防犯活動については、「ほとんど参加していない」(87.2%)が最も多く、次いで「内容により参加している」(10.1%)、「積極的に参加している」(2.8%)となっている。

「積極的に参加している」と「内容により参加している」の合計は12.9%となっている。

地域の防犯活動への参加の理由

問6の1 お住まいの地域で行われている町内会やPTAなどによる防犯活動について、参加しようと思った主な理由は何ですか。次の中から、あてはまるものに2つまでをつけてください。(制限回答、問6で「1 積極的に参加している」または「2 内容により参加している」と回答した人のみ)

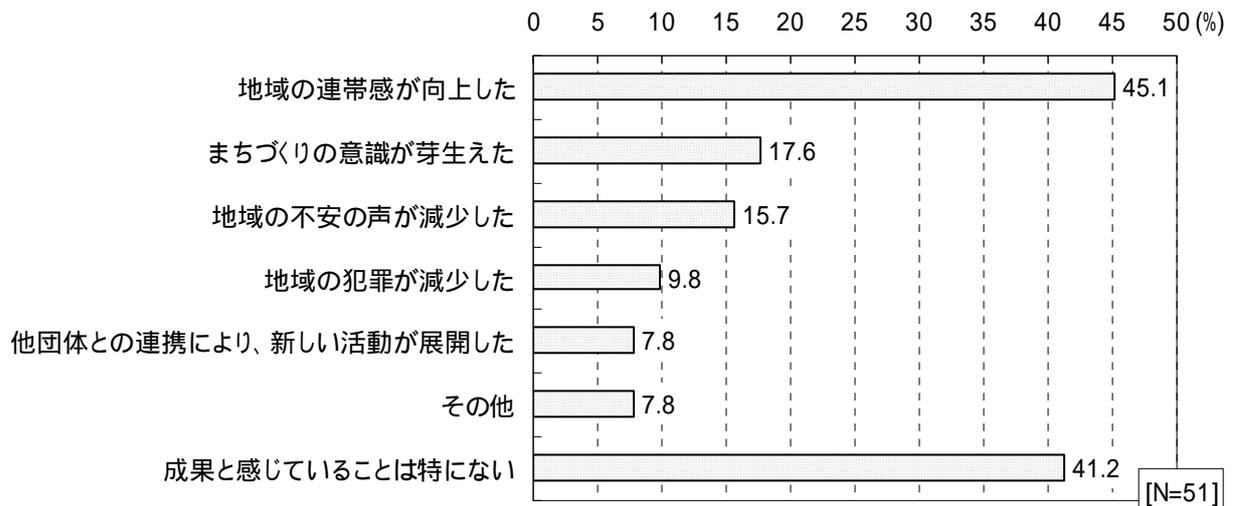


地域での防犯活動に参加している理由については、「犯罪が増えているような不安を感じているから」(41.2%)が最も多く、次いで「地域での活動を聞いたり、見たりしたから」(39.2%)、「地域の役に立ちたいから」(25.5%)、「ご近所や知人に勧誘されたから」(19.6%)、「時間に余裕があったから」(13.7%)などとなっている。

また、その他の内容としては、送り迎えなどの学校関係の活動に参加、町内会パトロールが(実質的に)強制だから、などとなっている。

地域の防犯活動の成果

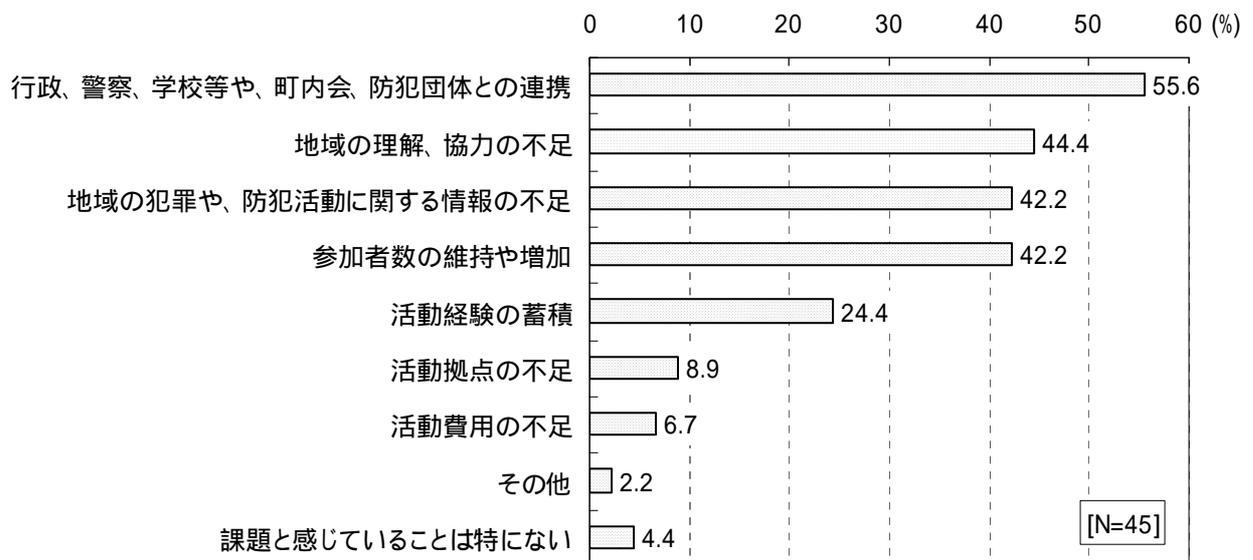
問6の2 お住まいの地域で行われている町内会やPTAなどによる防犯活動について、どのような成果があったと感じていますか。次の中から、あてはまるものいくつでもをつけてください。(複数回答、問6で「1 積極的に参加している」または「2 内容により参加している」と回答した人のみ)



地域の防犯活動の成果については、「地域の連帯感が向上した」(45.1%)が最も多く、次いで「成果を感じていることは特にない」(41.2%)、「まちづくりの意識が芽生えた」(17.6%)、「地域の不安の声が減少した」(15.7%)、「地域の犯罪が減少した」(9.8%)などとなっている。

地域の防犯活動の課題

問6の3 お住まいの地域で行われている町内会やPTAなどによる防犯活動について、どのようなことを課題と感じていますか。次の中から、あてはまるものいくつでもをつけてください。(複数回答、問6で「1 積極的に参加している」または「2 内容により参加している」と回答した人のみ)



地域の防犯活動の課題については、「行政、警察、学校等や、町内会、防犯団体との連携」(55.6%)が最も多く、次いで「地域の理解、協力の不足」(44.4%)、「地域の犯罪や、防犯活動に関する情報の不足」(42.2%)、「参加者数の維持や増加」(42.2%)、「活動経験の蓄積」(24.4%)などとなっており、「課題と感じていることは特にない」は4.4%となっている。

地域の防犯活動の課題解決

問6の4 お住まいの地域で行われている防犯活動について、課題解決のために必要と思われる工夫や取組みについて、お考えになっていることを自由に記入してください。
 (自由回答、問6で「1 積極的に参加している」または「2 内容により参加している」と回答した人のみ)

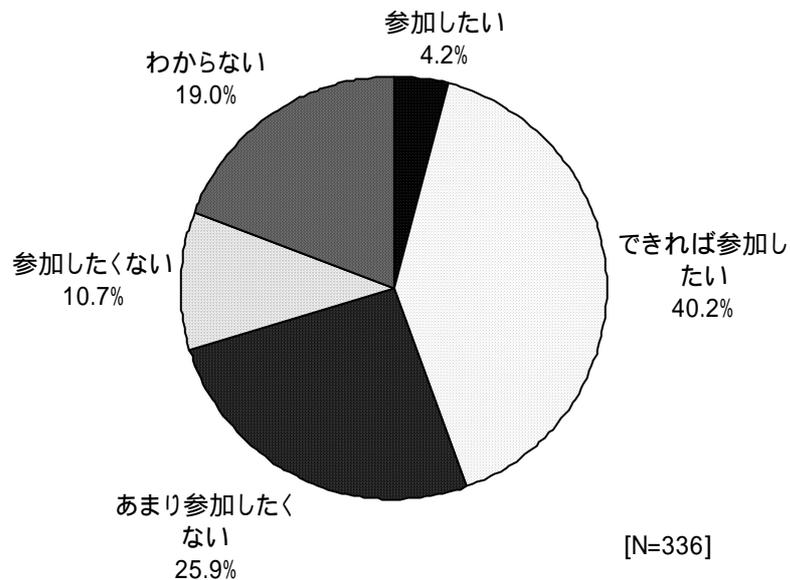
記入あり	31	59.6%
記入なし	21	40.4%
全数	52	100.0%

大分類	小分類	票数
町内会や近隣のコミュニケーションや情報共有に関して	地域の連帯意識が強まれば防犯についても効果が上がるはず	4
	コミュニケーションを持つ機会を増やすべきである	4
	地域住民の意識や理解が大切である	2
	声をかけあうことが大切である	2
	現状のままでは連帯意識を持つことは困難である	2
	限られた人だけが活動を行い、情報公開が少ない	2
	ステッカーなどを利用し、広く防犯を意識させてはどうか	2
	広い範囲での連携が必要である	1
	情報共有の場があればよいと思う	1
防犯活動・パトロール全般に関して	防犯活動の体制づくりや人員確保が必要である	2
子どもの見守りに関して	通学路の防犯は見守りが大切である	2
	高齢者の増加が問題である	2
	退職者に防犯ボランティアとして活躍してもらいたいのでは	1
個人での対策	個人的としてセンサーライトや警備会社の巡回などの防犯を検討している	1
	防犯グッズや登下校の見送り、複数人数での移動の推奨などにより子どもの安全に配慮している	1
	門灯点灯に協力している	1
行政の防犯対応に関して	市や区に犯罪情報に関する窓口を設置してほしい	1
	国、市としてのパトロール対応を検討してほしい	1
	犯罪情報は学校区などで限定せず近隣全般の情報を知りたい(別の小学校区の情報は警察から学校に伝達されない)	1
	地域との連携を密にしてほしい	1
	暗い路地へ街灯を設置すべき	1

注) 問7とあわせたとめが20ページにあり

地域の防犯活動未参加者の今後の参加意向

問6の5 お住まいの地域で行われている町内会やPTAなどによる防犯活動について、今後、参加したいと思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。(単回答、問6で「3 ほとんど参加していない」と回答した人のみ)

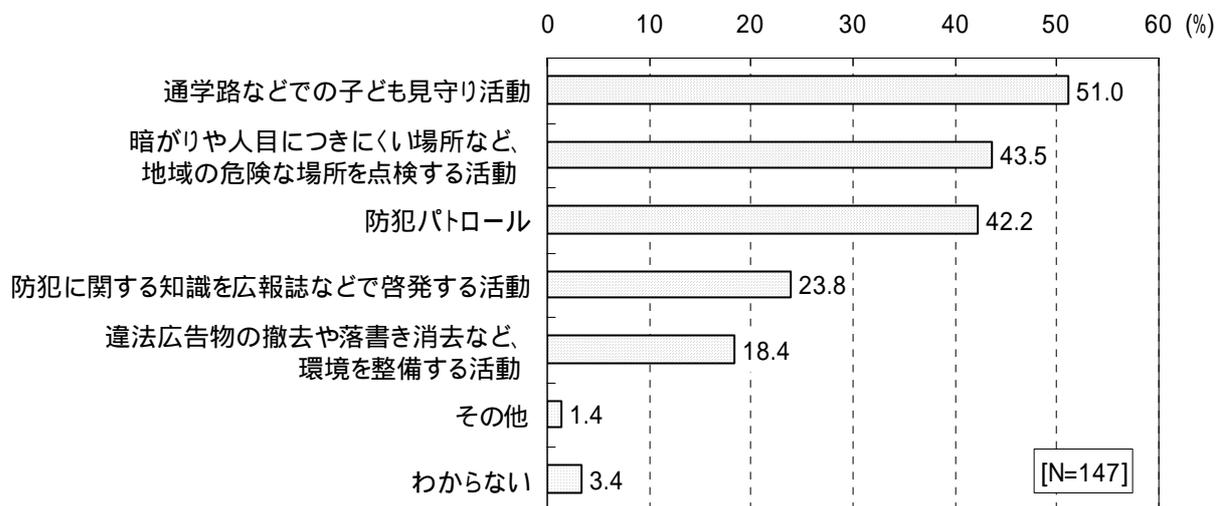


地域で行われている防犯活動へ今までほとんど参加していない回答者の今後の参加意向については、「できれば参加したい」(40.2%)が最も多く、次いで「あまり参加したくない」(25.9%)、「わからない」(19.0%)、「参加したくない」(10.7%)、「参加したい」(4.2%)となっている。

「参加したい」と「できれば参加したい」の合計は44.3%となっている。

参加したい防犯活動（現在未活動者）

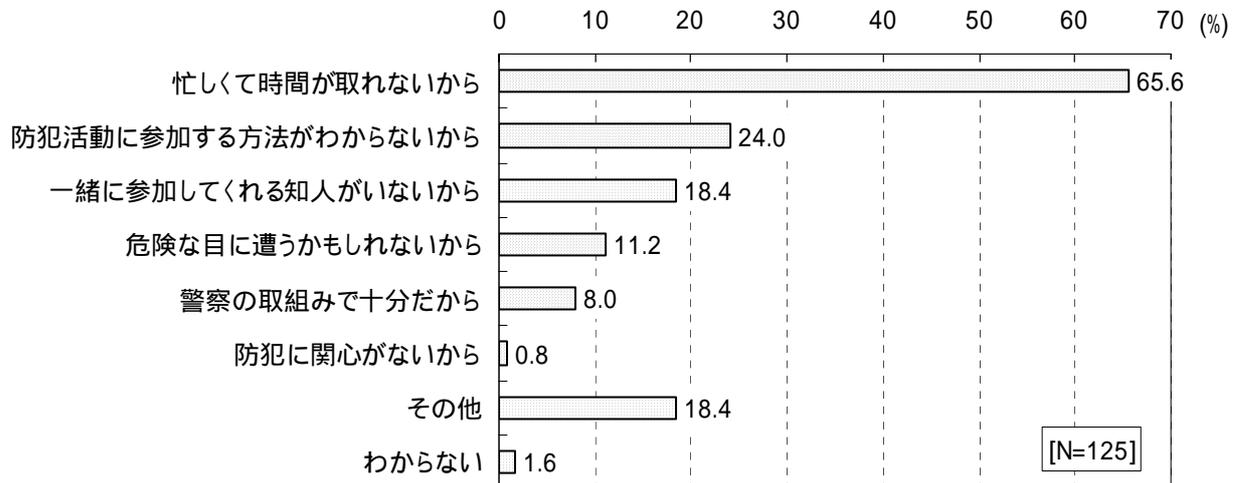
問6の6 どのような「内容」の防犯活動に参加したいと思いますか。次の中から、あてはまるものにいくつでもをつけてください。（複数回答、問6の5で「1 参加したい」または「2 できれば参加したい」と回答した人のみ）



参加したい防犯活動内容については、「通学路などでの子ども見守り活動」(51.0%)が最も多く、次いで「暗がりや人目につきにくい場所など、地域の危険な場所を点検する活動」(43.5%)、「防犯パトロール」(42.2%)、「防犯に関する知識を広報誌などで啓発する活動」(23.8%)、「違法広告物の撤去や落書き消去など、環境を整備する活動」(18.4%)などとなっている。

防犯活動に参加したくない理由

問6の7 防犯活動に参加したくない理由は何ですか。次の中から、あてはまるものはいくつでもをつけてください。(複数回答、問6の5で「3 あまり参加したくない」または「4 参加したくない」と回答した人のみ)



防犯活動に参加したくない理由については、「忙しくて時間が取れないから」(65.6%)、「防犯活動に参加する方法がわからないから」(24.0%)、「一緒に参加してくれる知人がいないから」(18.4%)、「危険な目に遭うかもしれないから」(11.2%)、「警察の取組みで十分だから」(8.0%)などとなっている。

その他の内容としては、病気・身体が不自由なため、高齢なため、参加機会がない、などとなっている。

地域の防犯活動・防犯意識について

問7 地域で防犯活動を行うことや、地域の防犯意識などについて、日ごろからお考えになっていることを自由に記入してください。(自由回答)

記入あり	162	40.3%
記入なし	240	59.7%
全数	402	100.0%

大分類	小分類	票数
防犯活動・パトロール全般に関して	パトロールの人数・頻度を増やしてほしい	10
	個々の防犯意識が希薄すぎるのが問題、意識向上が必要である	10
	日頃から防犯意識を持ち、注意している	7
	防犯活動をしなければならない社会こそが問題、改善が必要である	7
	防犯活動への参加する時間の確保が難しい	4
	防犯活動とプライバシー遵守の兼ね合いが難しい	2
	パトロールの防犯効果がどのくらいあるのかよくわからない	1
	防犯活動と防犯意識に差があるように感じる	1
	コンビニエンスストアの防犯体制に不安があり、改善してほしい	1
	防犯カメラ設置表示の明確化をはかってほしい	1
町内会や近隣のコミュニケーションや情報共有に関して	地域の連帯意識や防犯意識が高まれば犯罪減少につながる	14
	マンションと戸建て住宅住民の意識の違い、十民間での交流のなさなどあり、このままでは連帯して防犯活動を行うことが厳しい	13
	限られた人だけが活動を行い、情報を知る機会が少ない	12
	声をかけあうことが大切である	10
	コミュニケーションを持つ機会を増やすべきである	6
	問題があっても声をかけづらい	6
	町内会同士や警察等との連携が必要である	2
住居環境に関して	外灯(街灯)の設置不足、明るさの不足が問題である	14
	路上駐車の問題を改善してほしい	4
子どもの防犯に関して	状況に応じた集団下校や複数での帰宅の推奨をすべき	2
	子どもが危険時に避難できる場所の確保を増やしてほしい	2
	防犯カメラの設置をしてほしい	1
	関係者以外にも通学路の見守りに参加してほしい	1
	子ども自身が自分を守る術を大人が教えるべきである	1
	通学路の防犯活動は重要である	1
	現在の防犯活動に満足、感謝している	2

高齢化に関して	高齢者の増加が問題である	4
	退職者の防犯ボランティアを活用すべきである	4
	高齢のため活動への参加が難しい	2
	高齢者へのケアも必要である	1
	高齢者を抱え近隣への迷惑が心配である	1
行政の防犯対応に関して	警察のパトロールを強化して欲しい	7
	警察の防犯活動を増やしてほしい	5
	防犯活動には警察との連携が不可欠である	4
	行政と地域との一体化をはかり、広く情報も公開してほしい	4
	既存の警察パトロールや家庭訪問が役に立っている	2
	無人交番に警官を常駐させてほしい	1

注) 問6の4とあわせたとめが20ページにあり

地域の防犯活動・防犯意識について（まとめ）

問6の4，問7より 地域で防犯活動を行うための改善点、その他防犯活動全般や、地域の防犯意識などについて（自由回答）

顔を合わせ、地域の連帯意識を強め、情報の共有を

- ・コミュニケーションが大切、挨拶・声かけから
- ・おまつり、ラジオ体操などで顔見知りになり、声をかけあい、子ども達の顔も覚えて、不審者などに目がいくようになっている
- ・講習会や町内会などのお知らせを十分に活用すべき
- ・地域住民の意識や理解をはかって、参加者が増えるようにすることが必要では
- ・モニター越しではなく顔を合わせて話しをすることが大切
- ・地域の防犯活動の情報が入ってこないのでは回覧や参加するきっかけがほしい など

他の団体との連携を

- ・町内会同士が集まって、自警団を立ち上げる事はできないか
- ・地域では PTA、婦人会、老人会それぞれで活動をしており、情報が共有できる場所があるといいと思う
- ・市や区に犯罪情報に関する窓口を設置してほしい
- ・犯罪情報は学校区などで限定せず近隣全般の情報を学校に伝えてほしい
- ・警察のパトロールや地域連絡を密にしてほしい など

防犯アピールを積極的に

- ・防犯に力を入れている地区だとわかるようなステッカーなどを貼るといいのでは
- ・石油配達やその他配達車にステッカーを貼る事をすすめてほしい
- ・子ども 110 番の家などをもっと増やして、子どもにも十分に認知してもらうことが大切 など

防犯活動の体制づくりや人員確保が必要

- ・パトロールの人数・頻度を増やしてほしい
- ・活動に参加する時間の確保が難しい
- ・退職したら活動に参加したい
- ・退職者に防犯ボランティアとして活躍してもらおう など

個人でできる対策もする

- ・個々の防犯意識が希薄すぎるのが問題、意識向上が必要
- ・日頃からもっと子どもたちに自分自身で自分を守ることを教えるべき
- ・子どもに防犯グッズを持たせてる、登下校に見送り、複数で外出・登下校するように伝えている
- ・門灯点灯に協力している など

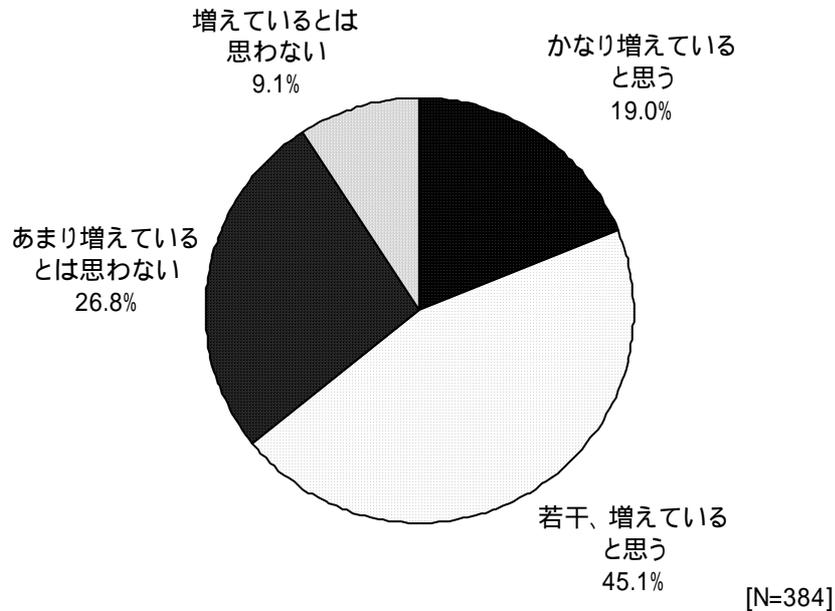
取り締まりなど

- ・街灯が足りない、路地などの街灯は暗いのもっと明るく
- ・防犯のためにも路上駐車対策をもっとすべき など

III 防犯カメラについて

防犯カメラ数への認識

問8 最近、防犯カメラに対する関心が高まっていますが、実際に防犯カメラが増えていると思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。(単回答)

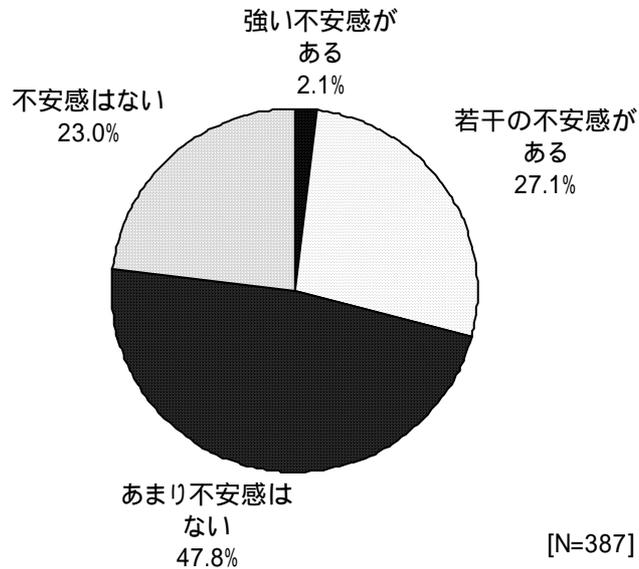


防犯カメラが増えていると思うかについては、「若干、増えていると思う」(45.1%)が最も多く、次いで「あまり増えているとは思わない」(26.8%)、「かなり増えていると思う」(19.0%)、「増えているとは思わない」(9.1%)となっている。

「かなり増えていると思う」と「若干、増えていると思う」の合計は64.1%となっている。

防犯カメラへの不安感

問9 防犯カメラによって、無差別に撮影されているという不安感がありますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。(単回答)

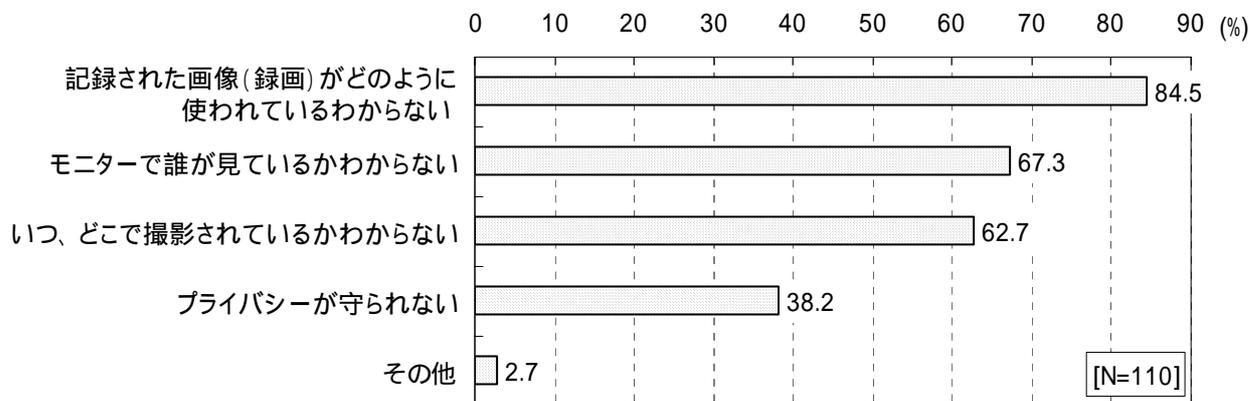


防犯カメラによって、無差別に撮影されているという不安感については、「あまり不安感はない」(47.8%)が最も多く、次いで「若干の不安感がある」(27.1%)、「不安感はない」(23.0%)、「強い不安感がある」(2.1%)となっている。

「強い不安感がある」と「若干の不安感がある」の合計は29.2%となっている。

防犯カメラへの不安の内容

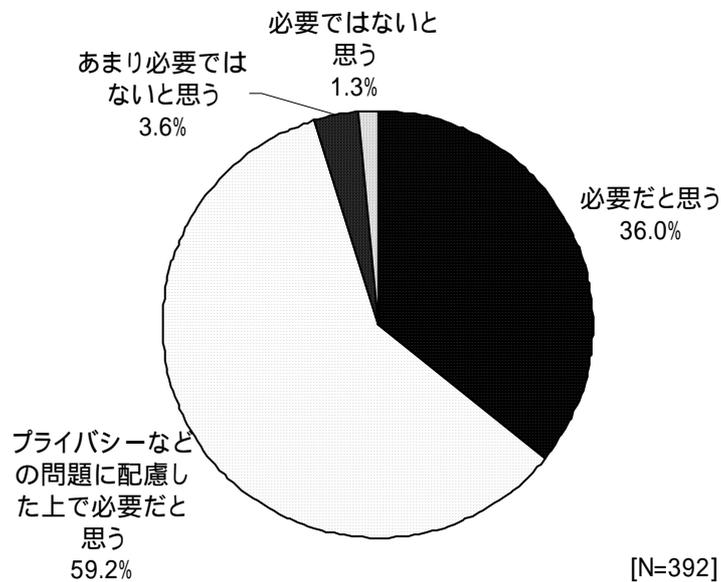
問9の1 あなたが感じている不安感は、どのような不安感ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでもをつけてください。(複数回答、問9で「1 強い不安感がある」または「2 若干の不安感がある」と回答した人のみ)



防犯カメラへの不安の内容については、「記録された画像(録画)がどのように使われているかわからない」(84.5%)が最も多く、次いで「モニターで誰が見ているかわからない」(67.3%)、「いつ、どこで撮影されているかわからない」(62.7%)、「プライバシーが守られない」(38.2%)、「その他」(2.7%)となっている。

防犯カメラの必要性

問10 防犯カメラは必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ をつけてください。(単回答)

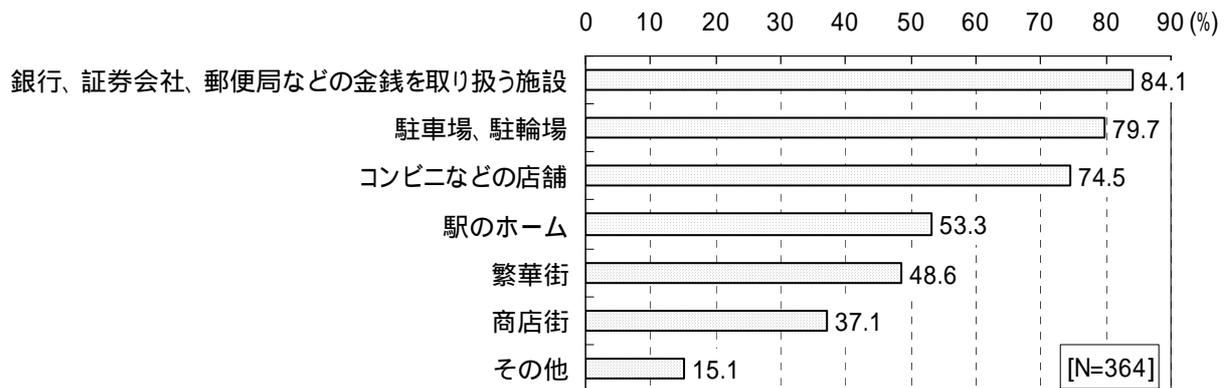


防犯カメラの必要性については、「プライバシーなどの問題に配慮した上で必要だと思う」(59.2%)が最も多く、次いで「必要だと思う」(36.0%)、「あまり必要ではないと思う」(3.6%)、「必要ではないと思う」(1.3%)となっている。

「必要だと思う」と「プライバシーなどの問題に配慮した上で必要だと思う」の合計は95.2%となっている。

防犯カメラの設置が必要な場所

問10の1 防犯カメラを、どのような場所に設置することが必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものはいくつでもをつけてください。(複数回答、問10で「1 必要だと思う」または「2 プライバシーなどの問題に配慮した上で必要だと思う」と回答した人のみ)

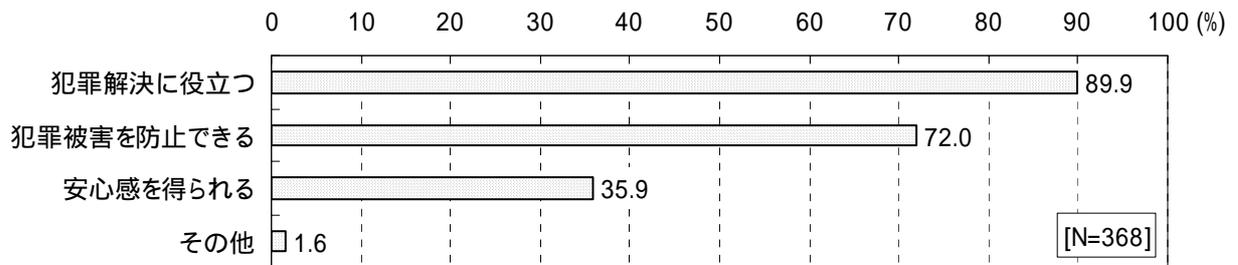


防犯カメラの設置が必要な場所については、「銀行、証券会社、郵便局などの金銭を取り扱う施設」(84.1%)が最も多く、次いで「駐車場、駐輪場」(79.7%)、「コンビニなどの店舗」(74.5%)、「駅のホーム」(53.3%)、「繁華街」(48.6%)などとなっている。

その他の内容としては、公園、人通りの少ない道路・地下道、学校・通学路、不特定多数の集合場所、交差点などとなっている。

防犯カメラの効果

問10の2 防犯カメラには、どのような効果があると思いますか。次の中から、あてはまるものにいくつでもをつけてください。(複数回答、問10で「1 必要だと思う」または「2 プライバシーなどの問題に配慮した上で必要だと思う」と回答した人のみ)



防犯カメラの効果については、「犯罪解決に役立つ」(89.9%)、「犯罪被害を防止できる」(72.0%)、「安心感を得られる」(35.9%)、「その他」(1.6%)となっている。

その他の内容としては、個人の意識が高まる、などとなっている。